

JAおおいた由布苺同志会

～令和8年2月10日(火) 訪問～ 【由布市】



由布市は、涼しい気候と昼夜の寒暖差を生かした品質の良いイチゴの産地になっており、平成28年から県育成品種「ベリーツ」の試験栽培を始め、令和7年産は産地全体の約7割で栽培されています。高設栽培の導入やパッケージセンターの活用などにより、作業の効率化と産地の維持にも取り組んでいます。また、若手生産者が多く、若手を中心とした同志会青年部が積極的に活動をしています。

懇談では、由布市でのイチゴ栽培の現状や販売動向、物価高騰などの課題についてお話を伺いました。「ベリーツ」は品質の高い品種として評価されている一方、生産量がまだ限られるため、京都市場などでの認知度向上に向けて販促活動を重ねていることをお聞きしました。新規就農者の確保と育成が重要である一方、ハウス設置にかかる高額な初期費用が障壁となっているというお話をお聞きしました。

今後ともイチゴの生産に励んでいただき、農業をさらに魅力あるものにしていただくことの期待をお伝えするとともに、今回伺った課題について県としてもしっかり取り組みたいと申し上げました。

憩 談 風 景



関連分野における県の施策 (令和8年度)

☆事業名：おおいた園芸産地づくり支援事業

事業概要：地域特性を活かすとともに、マーケットに対応した園芸品目を育成し、生産拡大を図るため、市町の「園芸産地づくり計画」に基づき認定農業者等が行う栽培施設の整備等を支援

予算額：13億8,094万円

☆事業名：園芸基幹品目産地づくり加速化事業

事業概要：マーケットニーズが高く、企業等からの参入希望が増えている園芸基幹品目の産地拡大を加速させるため、認定農業者等が行う栽培施設の整備等を支援

予算額：3億8,166万円

☆事業名：園芸基幹品目販売戦略推進事業

事業概要：生産拡大が見込まれる園芸基幹品目の販売や流通における課題を解決するため、戦略的な販売促進活動や流通改善の取組を支援

予算額：2,160万円